

そこに
AIは
あるんか？

社会福祉法人 慈恵会
特別養護老人ホーム西島寮



介護主任/能勢和泉
相談員/鈴木大嵩

西島寮の 生産性向上の取組み

情報共有化・AI音声入力化・業務負担軽減を目指して

特別養護老人ホーム西島寮

- 開設/昭和62年7月13日（1987年）
- 従来型特養/定員80名

措置の時代から2000年の介護保険制度を経て、介護における役割や日本の人口減少や高齢者人口の増加など、社会背景も大きく変貌してきました。

37年を経過した今・・・

令和元年の頃の西島寮では・・・

- 手書きによる同じような記録を何種類も書いていた。
また、書き写していた！介護記録・医務記録・担当者記録・ターミナル記録etc・・・書いても書いても終わらない！
- 申し送りに時間を費やし過ぎて、中々業務に入れない
- 職員を探しまわるなど連携しづらい
- 夜間、何度も訪室して確認やラウンドを行う

ムリ・ムダ・ムラが数多く存在

いつのまにか業務過多が常習化！

記録の記入にとてつもなく時間を費やす

記録の為、業務時間が延長
(人件費)

職員を探しまわる時間

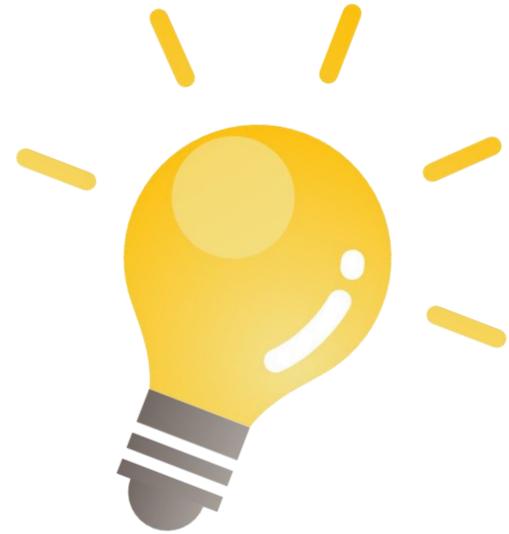
紙代
コピー代がムダ

職員が働きやすい環境を作らないといけない



課題① 「何を解決しないといけないのか？」

- 同じ記録の記入や書き写しをやめる
- 誰が記録しても隔たりの無い記録内容にする
- 多職種間でタイムリーな情報共有ができる
- 申し送り時間短縮する
- 職員を探し回らないようにする
- 職員連携を強化する
- ご利用者へゆっくり寝てもらえる環境にする
(ムダなラウンドの減少)
- 転倒予防やご利用者の体調確認など見守りを強化をする
- ペーパーレス化する

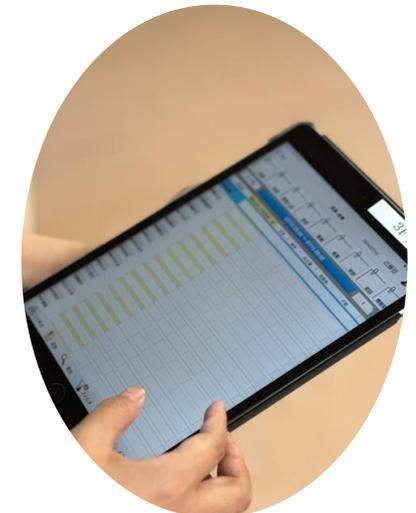
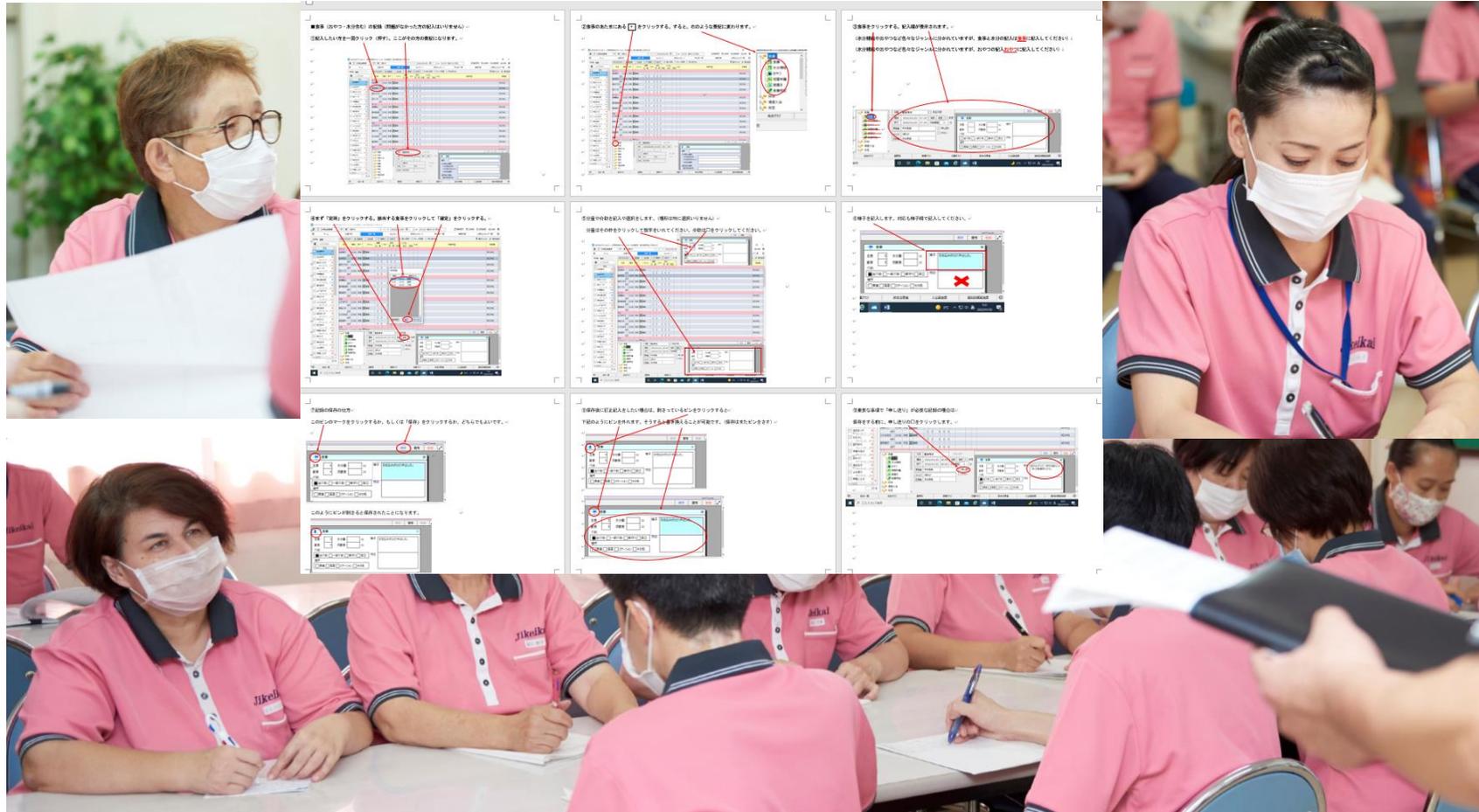


課題② 「何を導入すればいいのか？」

- Wi-Fi環境
- ノートPC・タブレット・スマホの端末準備
- 介護ソフトは？
- 見守り機器は？
- インカムの導入は？
- ロボット介護機器は？



課題③職員みんなが使えるのか？

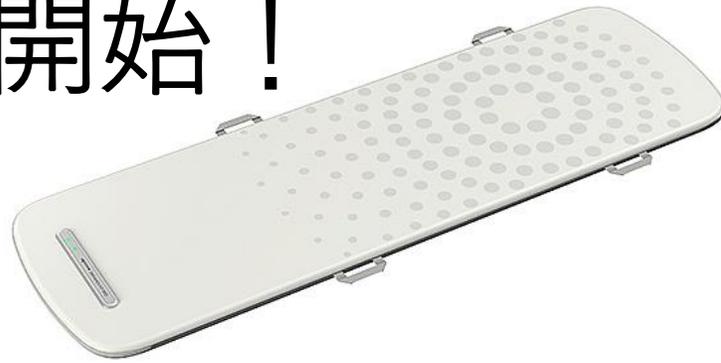


課題③職員みんなが使えるのか？

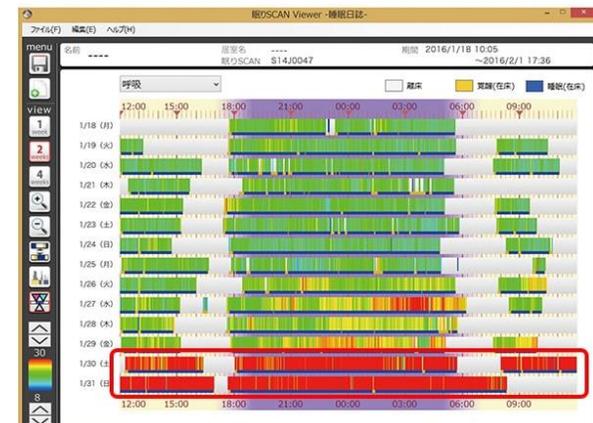
- どのような研修で、その後のフォローアップが重要と考える
- 何日も研修会を設定して全員が必ず参加できるようにする
- ティーチングの仕方
- 見てわかる操作資料を各項目ごとに準備する
- 機器に強い人と得意ではない人を組み合わせる
- 夜勤時、ペア同志わからないことを互いに共有して理解する

しっかりと研修期間・テスト期間を設けた

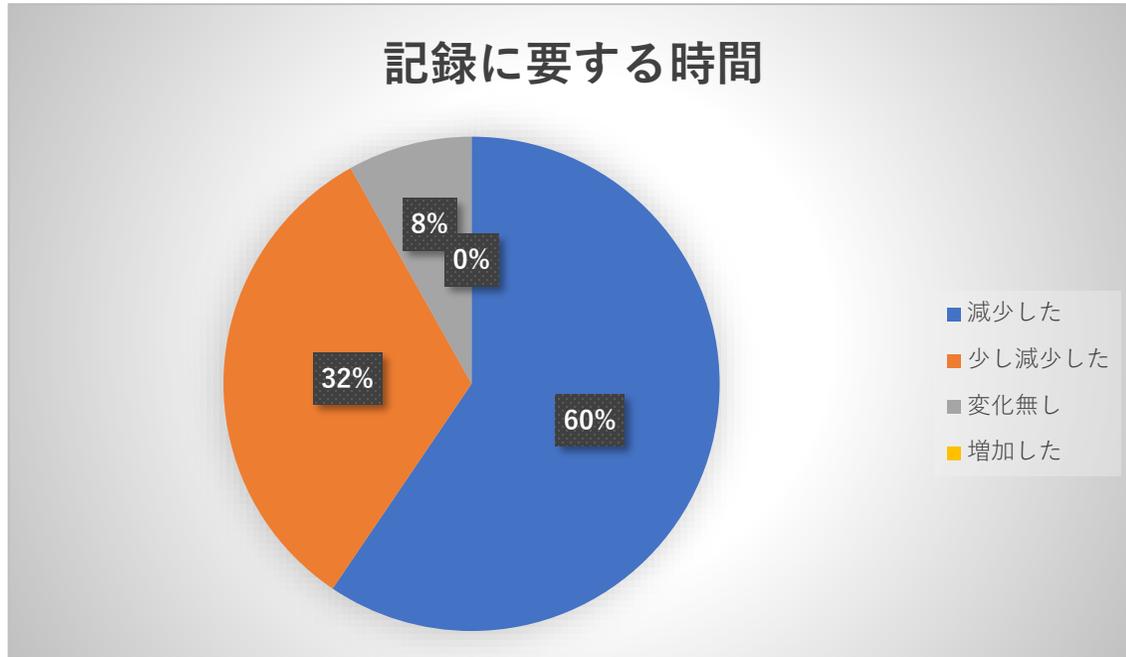
導入及び実施開始！



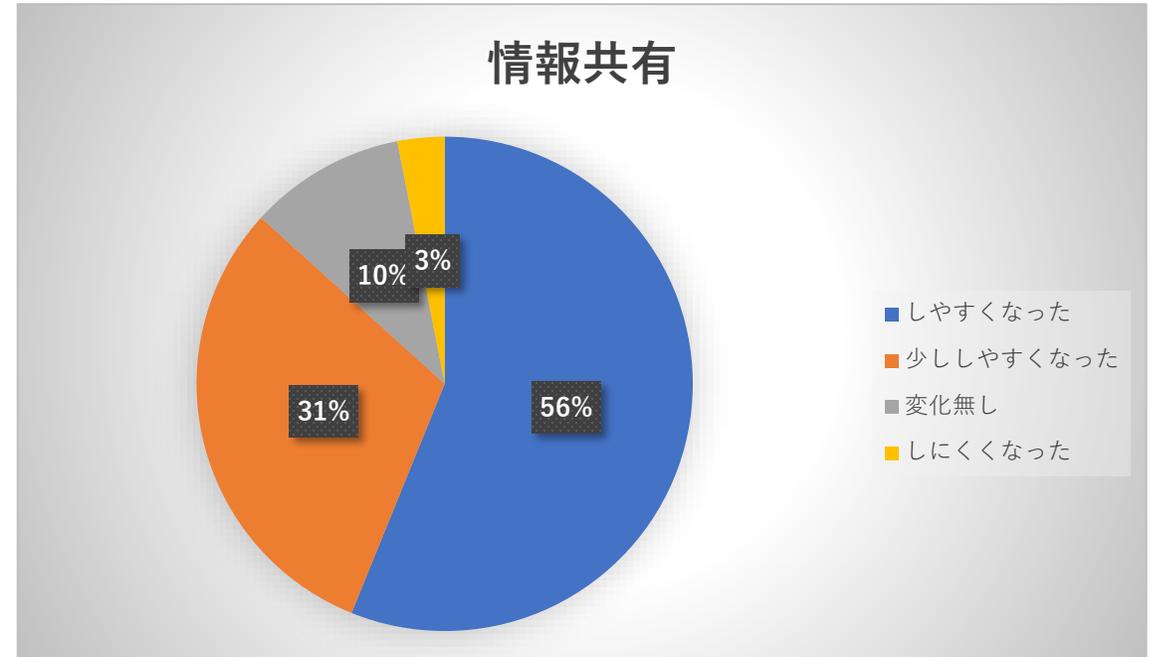
- 介護ソフト「ケアカルテ」
- 見守り支援システム「眠りスキャン」
- AI音声入力「ハナスト」



どう改善されたか？職員アンケート①

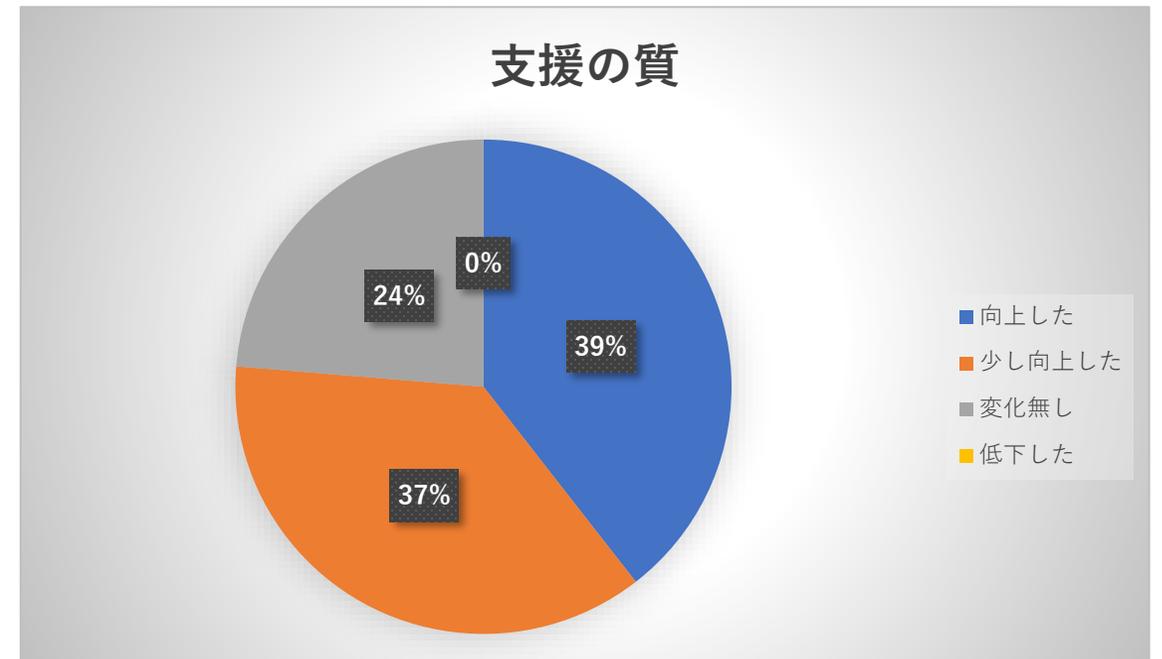
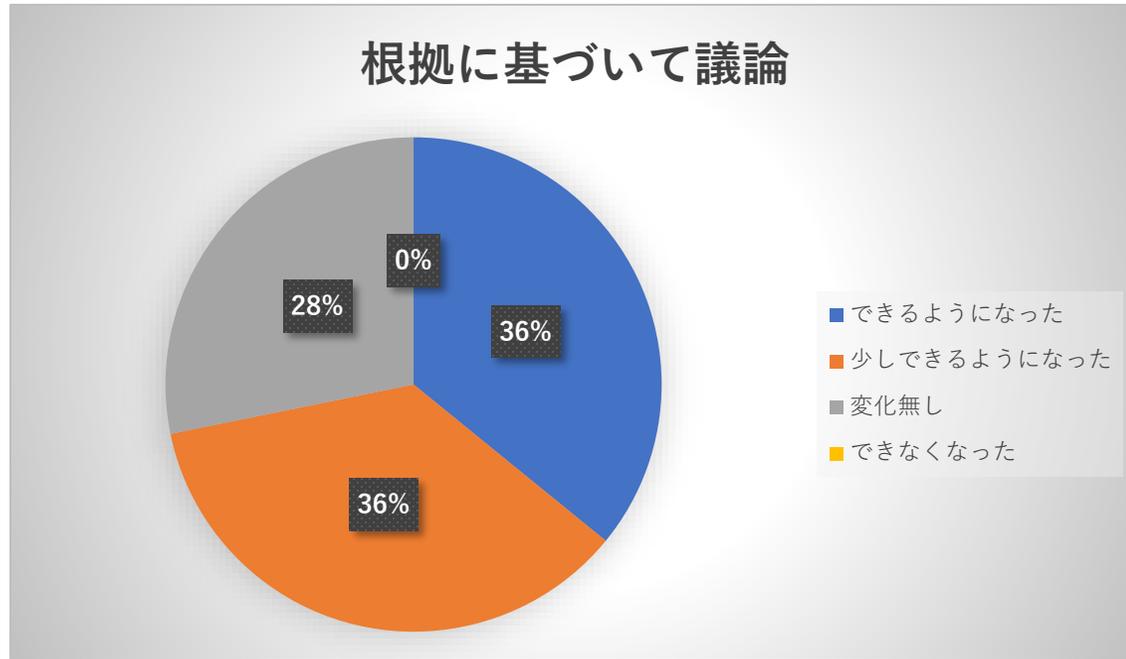


92%の職員が短くなったと実感。



87%の職員が情報共有しやすくなったと実感。

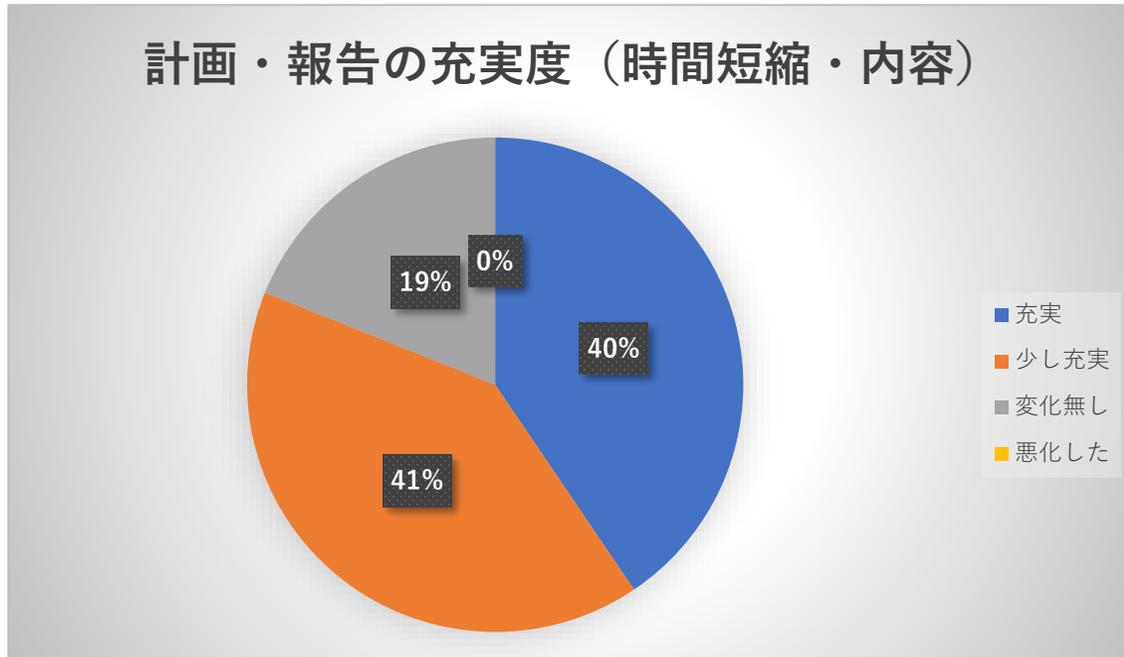
どう改善されたか？職員アンケート②



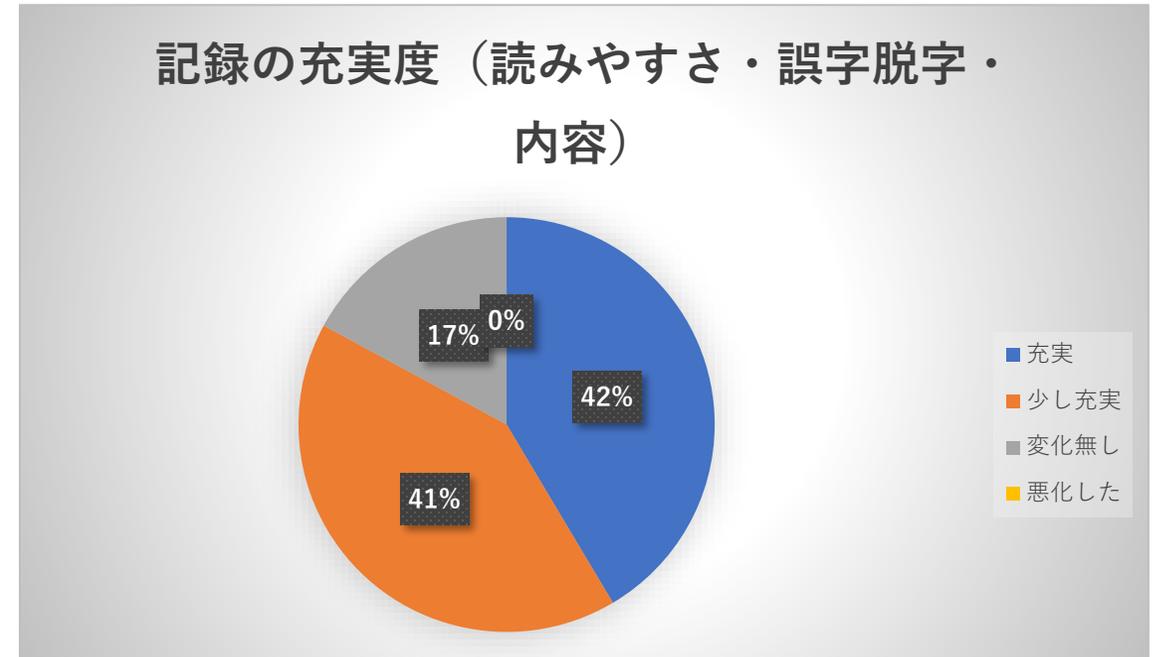
72%の職員が根拠に基づいて議論ができると実感。

76%の職員が支援の質が向上したと実感。

どう改善されたか？職員アンケート③

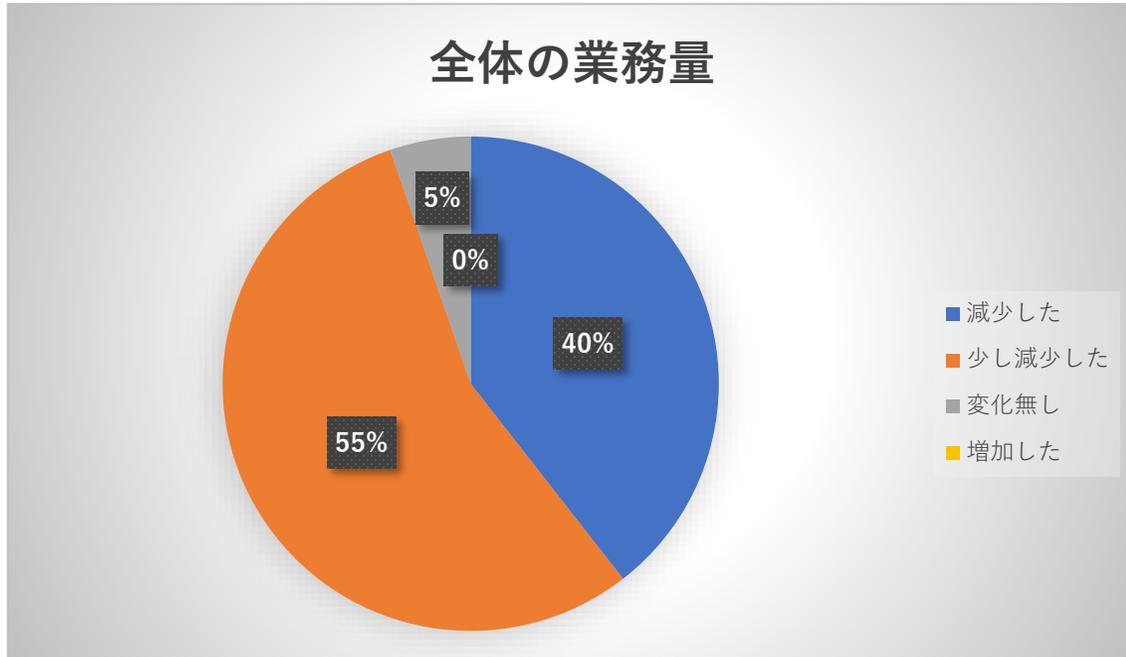


81%の職員が計画・報告の充実度が増大したと実感。

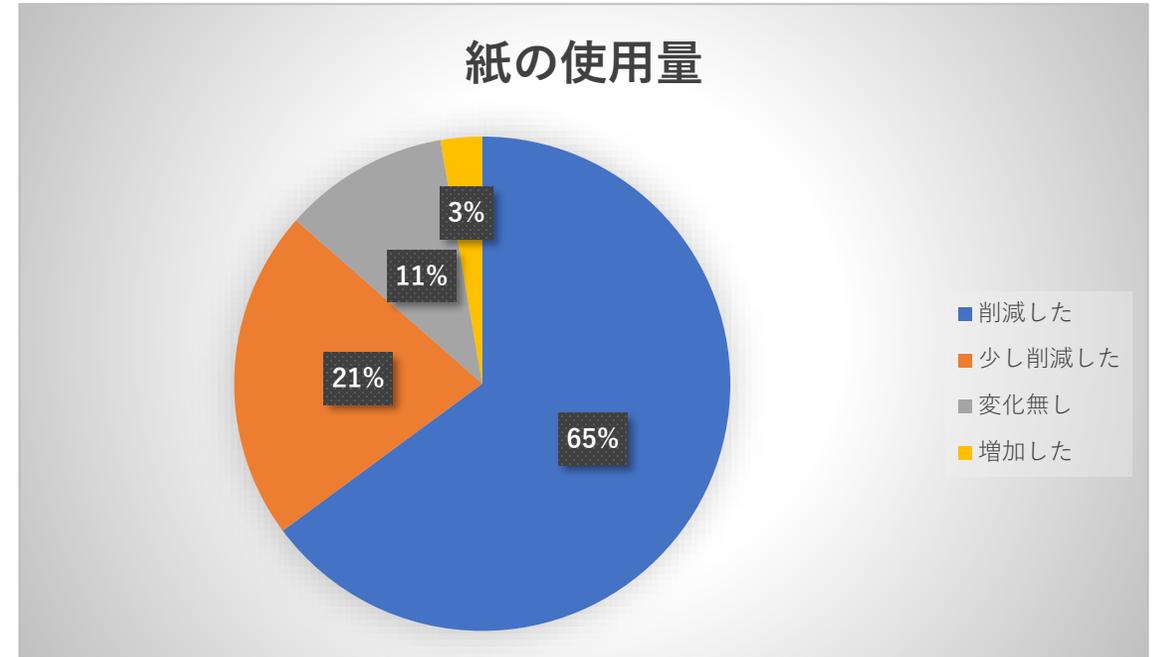


83%の職員が記録の充実度が増大したと実感。

どう改善されたか？職員アンケート④

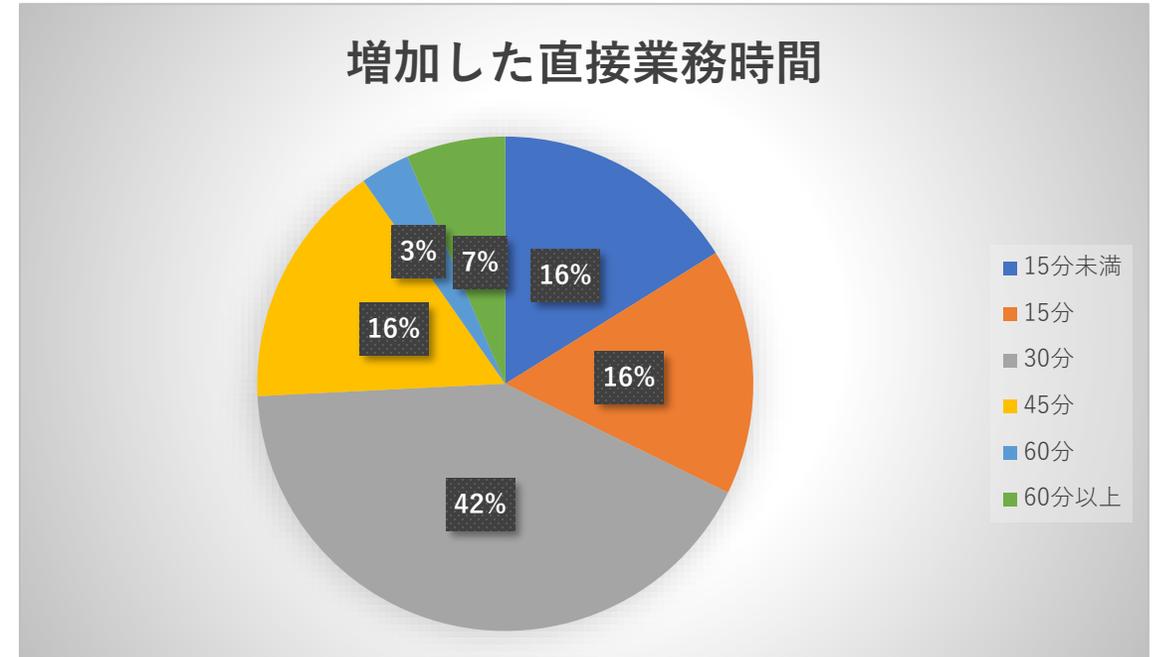
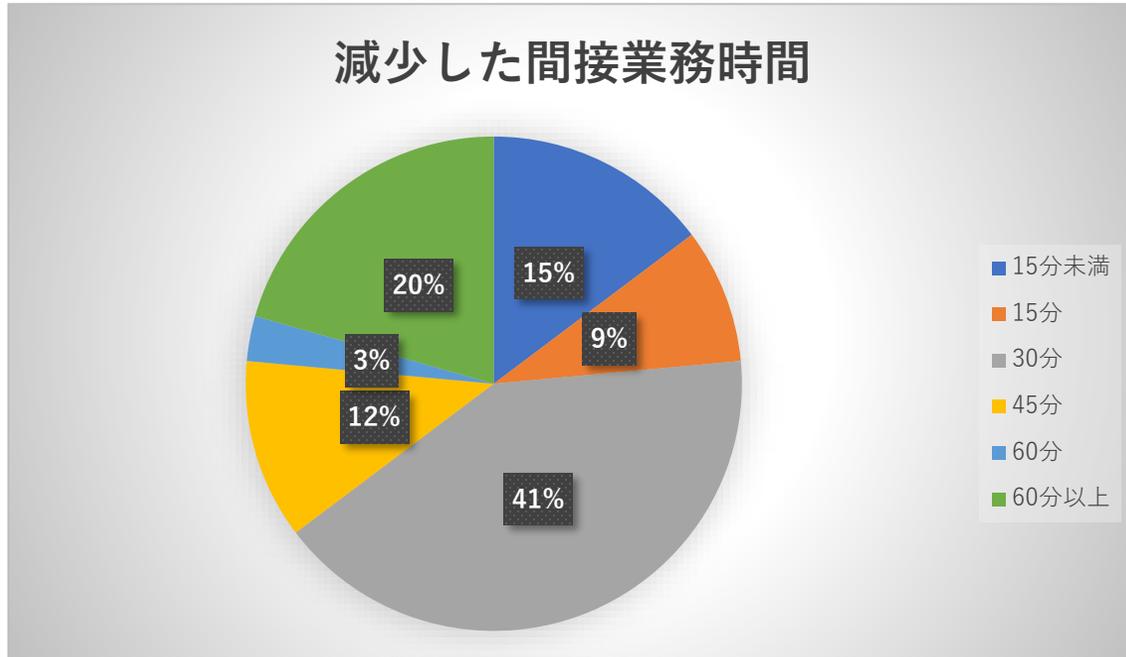


95%の職員が全体の業務量が減少したと実感。



86%の職員が紙使用量が減少したと実感。

どう改善されたか？職員アンケート⑤



76%の職員が30分以上間接業務が減少したと実感。 約70%の職員が30分以上直接業務が増加したと実感。

※間接業務減少→直接業務や支援の増加へ結びつけること！！

まとめ

生産性向上委員会をもとにその先を見据えた介護DX化を図る

- 直接介護の時間を充実させること
- ご利用者への支援の質を高めること
- 介護補助員の導入・採用を始めている
- 介護職員の間接業務と直接業務を分けて業務軽減を図る
- 介護職員はより専門性の高い認知症ケアに努める

西島寮 生産性向上の取組みは続く

ご清聴ありがとうございました。

社会福祉法人 慈恵会

特別養護老人ホーム西島寮